

福島第一原子力発電所 1号機オペレーティングフロアの 再調査結果について

平成24年12月3日

東京電力株式会社



1. 調査概要

◆目的

1号機原子炉建屋5階オペレーティングフロア（以下、オペフロ）の状況を把握し、使用済燃料プールからの燃料取り出し等の検討に資する。

◆実施内容

カメラを取り付けたバルーンを用いて、以下の調査を実施した。

- －オペフロ上の屋根ガレキ、天井クレーン、燃料取替機等の状況調査
- －大物搬入口から機器ハッチ、SFPまでのアクセス性確認
- －オペフロ機器ハッチ開口部の線量測定

※4台あるカメラの内、上方向を撮影するカメラの画像は、取得することができなかった。

※バルーンによる調査が成功した為、飛翔体による調査は実施しなかった。

◆現場体制

当社社員：5名

協力企業：25名

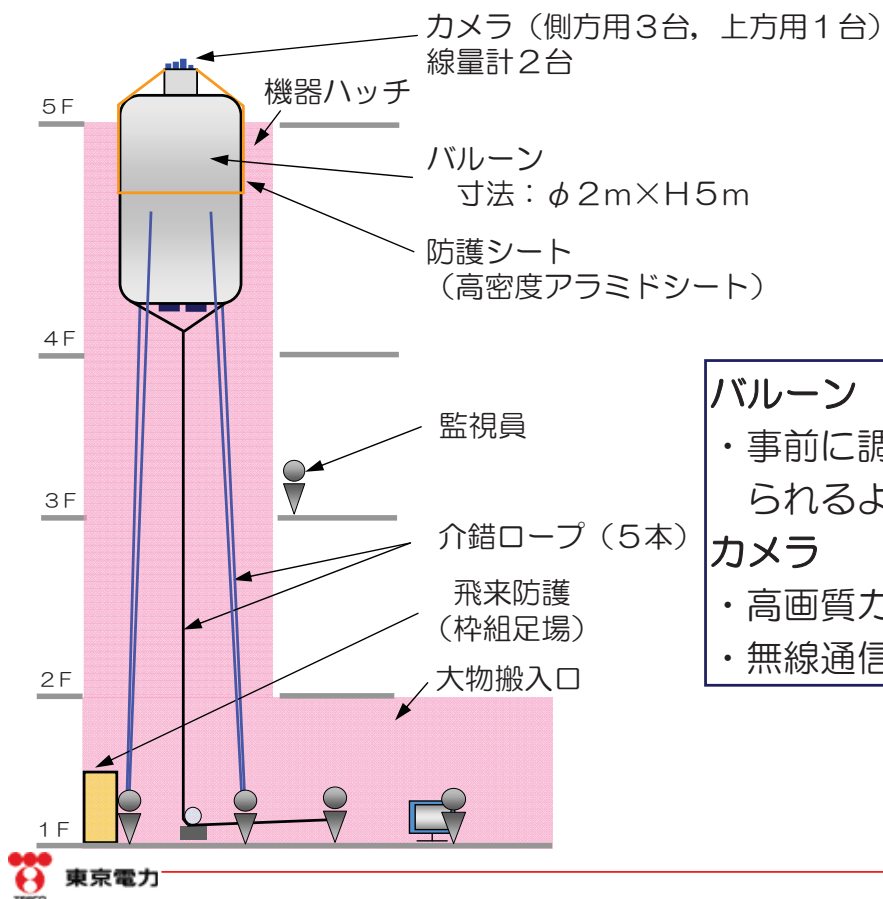
◆調査実施日

10月24日（水） 11：07～12：48

◆最大被ばく線量

3.81mSv/人（計画線量 5mSv/人）

2. 調査イメージ



バルーン

- ・事前に調査、確認した障害物を避けられるようサイズ、形状を変更

カメラ

- ・高画質カメラを搭載
- ・無線通信にて、拡大／縮小操作可能

3. 調査状況 (バルーン外観)



バルーン外観 (横倒し状態)

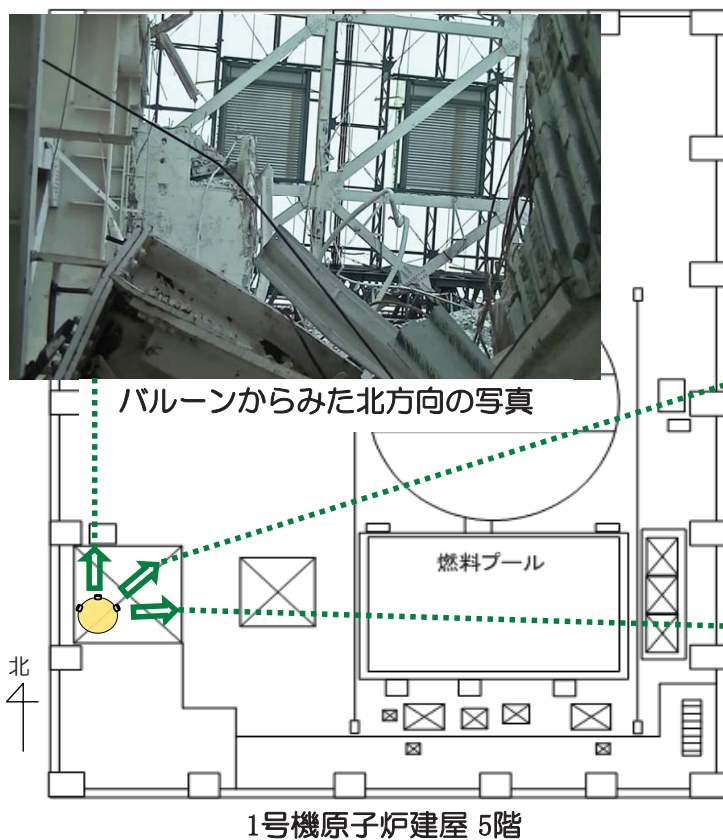


バルーン機器ハッチ内浮遊状況 (真上を見上げた画像)



バルーン外観 (立起き状態)

4. 調査結果（原子炉建屋5階フロア状況①）

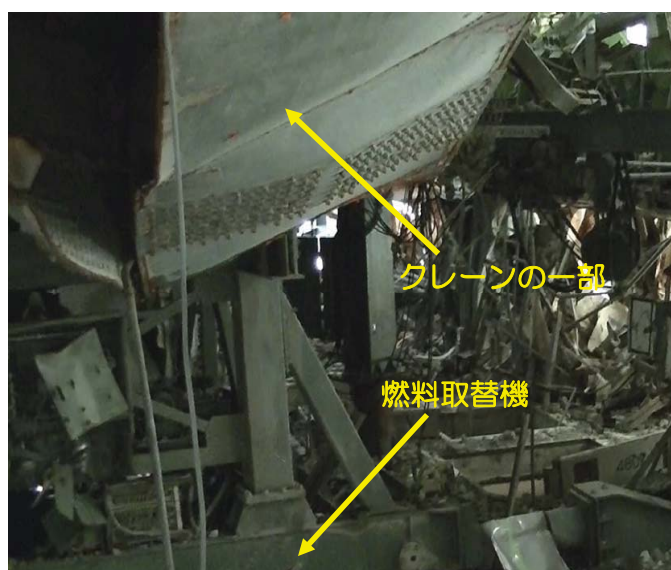


バルーンからみた北東方向の写真



バルーンからみた東方向の写真

5. 調査結果（原子炉建屋5階フロア状況②）



6. 調査結果（各フロアの線量率）

バルーン最高到達点線量
OP42400

(オペフロ床面から3.5mの地点)

37.1mSv/h

オペレーティングフロア線量
(オペフロ床面から1mの地点)

最高53.6mSv/h

原子炉建屋4階線量

最高20.1mSv/h

原子炉建屋3階線量

最高33.6mSv/h

原子炉建屋2階線量

最高150.5mSv/h

